

教科・科目名：国語			
履修学年・対象	2年	共通 6単位	
使用教科書	出版社：光村図書	名称：国語2	
	出版社：三省堂	名称：現代の書写一・二・三	
副教材 (授業で使用)	出版社：正進社 名称：新・国語の便覧	出版社：第一学習社 名称：意味から学ぶ頻出漢字3000	
	出版社：京都書房 名称：新修古典文法 二訂版	出版社：いわずな書店 名称：古典文法集中トレーニング用言編	
	出版社：尚文出版 名称：必携 新明説漢文	出版社：第一学習社 名称：ニューエイジ漢文2	
	出版社：明治書院 名称：はじめての評論文20選 改訂版		
授業の目 標・内容・進 め方	<p>中学2年生でも、社説ノート、読書マラソン、漢字コンテストを通して、自ら学習に取り組む姿勢を重視します。</p> <p>授業では1年次に引き続き、評論文20選を中心に扱っていきます。1年次で徹底した「要約」から、自分の意見を述べる段階に入ります。</p> <p>小説では、感想文から脱却し、ある観点から論じられるようにしていきます。太宰研究がそれにあたります。短歌、作文作りなど、工夫した作品作りも継続しましょう。</p> <p>古典では、昔話を中心に扱い、古典文法は用言までは全て網羅します。漢文も故事成語などの文章を中心に扱った上で、句形の学習に入ります。漢字検定は最低3級、できれば準2級をとりましょう。</p>		
授業計画	4月	『無痛化する社会のゆくえ』、宮沢賢治研究、古文昔話(動詞)、漢検3級	
	5月	『「わかる」とは何か』、古文昔話(動詞)	第1回試験
	6月	小説、古文昔話(動詞)、漢検	
	7月	『字のない葉書』、平家物語(動詞)	第2回試験
	夏休	作文、社説ノート、読書、漢字、問題演習	
	9月	『「美しさの発見」について』(構築主義)平家物語(形容詞)	
	10月	『だれが自分を創るのか』(関係論)現代学生百人一首、漢検	第3回試験
	11月	『ゼブラ』、『平家物語』(形容動詞)、短歌と俳句	
	12月	『思い出せない記憶』(言語論)、枕草子(用言)	第4回試験
	冬休	書初め、問題演習、俳句、百人一首	
	1月	『貨幣の本質、愛の本質』(貨幣論)百人一首、『枕草子』(用言)	
	2月	『文学の仕事』『走れメロス』、百人一首、『枕草子』(用言)、太宰治研究	
	3月	『走れメロス』、太宰治研究、用言総復習	第5回試験

教科・科目名：社会			
履修学年・対象	2年	4単位	
使用教科書	出版社：教育出版	名称：中学社会 地理 地域に学ぶ	
使用教科書	出版社：学び舎	名称：ともに学ぶ人間の歴史 中学社会歴史の	
副教材 (授業で使用)	出版社：帝国書院	名称：新編 中学校社会科地図 初訂版	
	とうほう	名称：世界の諸地域NOW2017	
	第一学習社	名称：最新日本史図表 初訂版	
授業の目標・ 内容・進め方	各週2時間、地理的分野と歴史的分野を学ぶ。地理では、世界の諸地域の学習を進める。2年次では、南アジア、西アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北アフリカ・南アメリカ・オセアニアまでの予定である。歴史では、南北朝時代から江戸幕府の滅亡までの学習を行う。内容の理解につとめ、自分の言葉で説明できることをめざし、歴史に対する理解を深める授業づくりを重ねる。地理、歴史ともにグループによる調べ学習と発表などを適宜行う。		
課題・提出物	歴史・地理ともに、前期・後期それぞれ1～2回、授業ノートの提出。新聞ノート提出(歴史)・国名テストは各定期テストの中で実施(地理)、夏休みに新聞切り抜きコンクールの作品を作製。		
授業計画	4月	世界の諸地域(南アジア) : 南北朝と室町幕府	
	5月	世界の諸地域(西アジア・アフリカ) : 室町時代の対外関係	第1回試験
	6月	世界の諸地域(西アジア・アフリカ) : 室町時代の民衆と産業	
	7月	世界の諸地域(ヨーロッパ) : 室町幕府の衰退	第2回試験
	9月	世界の諸地域(ヨーロッパ) : 鉄砲とキリスト教の伝来	
	10月	世界の諸地域(ヨーロッパ) : 織豊政権	第3回試験
	11月	世界の諸地域(ヨーロッパ・ロシア) : 幕藩体制の成立	
	12月	世界の諸地域(アングロアメリカ) : 文治政治への転換	第4回試験
	1月	世界の諸地域(アングロアメリカ) : 農民・町人の生活と文化	
	2月	世界の諸地域(ラテンアメリカ) : 江戸幕府の諸改革	
	3月	世界の諸地域(オセアニア) : 開国と貿易	第5回試験
	長期 休暇	夏休み:新聞切り抜き作品コンクールへの提出作品づくり	
		冬休みなど:新聞ノート	

教科・科目名：幾何			
履修学年・対象	2年	共通 2単位	
使用教科書	出版社：大日本図書 数学の世界 2年		
副教材 (授業で使用)	出版社：数研出版 名称：体系数学2(幾何編) 出版社：数研出版 名称：体系問題集 数学2 幾何編 発展		
授業の目標・ 内容・進め方	<p>中高一貫向けテキストである「体系数学」を中心に授業は進められる。授業進度は早く、内容は学年を超えてテーマごとに学んでいく。そのため復習はその日のうちに行い、まずはしっかりと基礎力をつける取り組みが大切である。モーニングレッスンの時間に行われる小テストを利用して、到達度を確認しながら学習したい。</p> <p>幾何の授業では特に定義(言葉の約束)が多いので、これらをしっかり覚え、図形のもつ性質を学ぶよう心がけたい。また代数編の学習とも密接につながりが出てくるので、平行して学習することが大切。</p>		
授業計画	4月	図形と相似	
	5月	図形と相似	第1回試験
	6月	図形と相似	
	7月	線分の比と計量	第2回試験
	夏休		
	9月	線分の比と計量	
	10月	線分の比と計量	第3回試験
	11月	円	
	12月	円	第4回試験
	1月	円	
	2月	円	
3月	ここまでの復習	第5回試験	

教科・科目名：代数			
履修学年・対象	2年	共通 3単位	
使用教科書	出版社：大日本図書	数学の世界 2年	
副教材 (授業で使用)	出版社：数研出版	名称：体系数学2(代数編)	
	出版社：数研出版	名称：体系問題集 数学2 代数編 発展	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>中2終了までに、中学数学の内容を完成させることを目標とする。授業は中高一貫向けテキストである「体系数学」を中心に進められる。授業進度は早く、内容は学年を超えてテーマごとに学んでいく。そのため復習はその日のうちに行い、まずはしっかりとした基礎力をつける取り組みが大切である。モーニングレッスンの時間に行われる小テストを利用して、到達度を確認しながら学習したい。</p> <p>後期に学ぶ2次関数は今後につながる大きなテーマであるから、特に丁寧に学んでほしい。関数ソフトや表計算ソフトを利用し、理解を深めたり、分析し表現する力を身につける。</p>		
授業計画	4月	式の計算	
	5月	式の計算	第1回試験
	6月	平方根	
	7月	平方根	第2回試験
	夏休		
	9月	2次方程式	
	10月	2次方程式	第3回試験
	11月	2次関数 $y = ax^2$	
	12月	2次関数 $y = ax^2$	第4回試験
	1月	確率	
	2月	確率・標本調査	
	3月	確率・標本調査	第5回試験

教科・科目名：理科A

履修学年・対象	2年	共通	2単位		
使用教科書	出版社：啓林館	名称：未来へひろがるサイエンス1, 2			
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店	名称：最新 理科便覧 千葉県版			
	教育開発出版	中学の化学			
	実教出版	アクセスノート化学基礎 改訂版			
授業の目標・ 内容・進め方	<p>中学2年の理科Aでは、中学の化学分野および高校化学の基礎を学習する。テキストは、中学分野の「未来へひろがるサイエンス」と高校化学の土台を学ぶ「アクセスノート化学基礎」の二冊を用いる。基礎知識の習得だけでなく、実験実習も多く取り入れ、自分で課題設定、問題解決、結果考察等ができる能力の育成を目指す。</p> <p>教室の授業では、先ず説明、板書事項をノート(ルーズリーフ不可)にとり、自分なりにノートにまとめ直し、重要事項の整理をすること。その後、問題集を複数回ノートに解くことで、知識の定着を図ること。実験ではレポートを作成し、思考力、考察力を身につける。夏休み明け提出の理科自由研究は、自らテーマを設定し、早くから計画的に進めておくこと。</p>				
課題・提出物	授業ノート提出, 実験レポート提出, 問題集宿題, 小テスト, 夏期自由研究				
成績評価の方法	定期試験結果70%、上記提出物・小テスト・授業態度評価30%				
授業計画	4月	前期	<身のまわりの物質>	(化学基礎分野)	
	5月		1. いろいろな物質とその性質	(物質の分類、原子と分子)	第1回試験
	6月		4. 物質の状態とその変化	(原子の構造、電子配置、周期律と周期表)	
	7月		2. いろいろな気体とその性質	(イオン・原子の結合、原子量など)	第2回試験
	夏休				
	9月		3. 水溶液の性質	(溶液の濃度)	
	10月	後期	<化学変化と原子・分子>		第3回試験
	11月		1. 物質の成り立ち	(化学反応式)	
	12月		1. 物質の成り立ち	(化学反応式)	第4回試験
	1月		3. 化学変化と物質の質量の規則性	(物質質量)	
	2月		2. さまざまな化学変化		
	3月		2. さまざまな化学変化		第5回試験

教科・科目名：理科B

履修学年・対象	2年	共通	2単位
使用教科書	出版社：啓林館	名称：未来へひろがるサイエンス2	
副教材 (授業で使用)	出版社：教育開発出版	名称：中学の地学・物理	
	浜島書店	名称：最新理科便覧千葉県版	
授業の目標・内容・進め方	<p>◎目標内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気の変化…身近な気象の観察、観測を通して、気象要素と天気の変化の関係を見出させるとともに、気象現象についてそれが起こる仕組みと規則性についての認識を深める。 ・電気とその利用…電流回路、磁場についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係及び電流の働きについて理解させるとともに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。 <p>◎進め方</p> <p>授業はノート、プリントをもとに進める。また、必要に応じて生徒実験や演示実験、または情報機器を用いてスライドを見せるなどして理解を深める。地学、物理の両分野とも、教科書の内容に留まらず、高校、大学での学習内容に触れていく。</p>		
課題・提出物	夏休みの自由研究、実験レポート、演習プリント等		
成績評価の方法	定期テスト(70～80%)、実験レポート・自由研究・その他課題・授業中の活動など(20～30%)		
授業計画	4月	地球の大気と天気の変化 ①空気中の水の変化	実力試験
	5月	①つづき	第1回試験
	6月	②天気の変化と大気の動き	
	7月	②つづき ③大気の動きと日本の四季	第2回試験
	夏休	問題演習、自由研究	
	9月	③つづき	
	10月	電流の性質とその利用 ①電流の性質	第3回試験
	11月	①つづき	
	12月	②電流の正体	第4回試験
	1月	②つづき	
	2月	③電流と磁界	
	3月	③つづき	第5回試験

教科・科目名 : 英語

履修学年・対象	2年	共通	6単位	
使用教科書	出版社: Z会	名称: NEW TREASURE STAGE 1 → 2		
副教材 (授業で使用)	出版社: CAMBRIDGE	名称: Basic Grammar in Use (BGU)		
	Z会	名称: New Treasure WORKBOOK		
	Z会	名称: New Treasure 文法問題集		
	桐原書店	名称: Hyper Listening Introductory		
	旺文社	名称: 英単語ターゲット1200		
授業の目標・ 内容・進め方	<p><目標>単に丸暗記をするのではなく、運用能力を高めることを目指します。(運用能力とはいつ、どこで、どのように使われているかコンテキストを意識して、英語を使えることを指します。)</p> <p><モーニングレッスン> オックスフォード出版のOxford Reading Tree (洋書)を使った多読活動。</p> <p><英語A 3単位> New Treasure を用いて文法を英文の文脈から学び、四技能へとつなげていく。基本的な文法や内容を理解したら、音読を繰り返し、教科書に出てきた重要表現を使って自己表現が出来るまで習熟度を高める。またListeningテストで学習内容の定着を図る。</p> <p><英語B 2単位> Basic Grammar in Useを用いて英語Aの教科書で習う文法事項を先行して学習する。海外のテキストを使うことで、英語の生の表現に触れ、運用能力を高める。</p>			
授業計画		英語A	英語B	
	4月	NEW TREASURE 1 Lesson 13, 14	BGU: Unit 38, 39, 78, 107, 108, 109, 88, 89, 90, 91	
	5月	NEW TREASURE 2 Lesson 1, 2	BGU: Unit 29, 34, 35, 94, 53, 55	第1回試験
	6月	NEW TREASURE 2 Lesson 3, 4	BGU: Unit 98, 99, 100, 97	
	7月	NEW TREASURE 2 Lesson 5	BGU: Unit 53	第2回試験
	8月			
	9月	NEW TREASURE 2 Lesson 6	BGU: Unit 16, 17, 18, 19, 20, 21	
	10月	NEW TREASURE 2 Lesson 7	BGU: Unit 22	第3回試験
	11月	NEW TREASURE 2 Lesson 8	BGU: Unit 64, 68, 69, 76	
	12月	NEW TREASURE 2 Lesson 9	別途指示	第4回試験
	1月	NEW TREASURE 2 Lesson 10	BGU: Unit 102, 103	
	2月	NEW TREASURE 2 Lesson 11	BGU: Unit 40, 54	
	3月	NEW TREASURE 2 Lesson 12	別途指示	第5回試験

教科・科目名：保健体育

履修学年・対象	2 年		共通		3 単位			
使用教科書	出版社：学習研究社		名称：中学保健体育					
副教材 (授業で使用)	出版社：大修館		名称：ACTIVE SPORTS					
	出版社：正進社		名称：保健学習ノート					
授業の目標 内容・進め方	<ul style="list-style-type: none"> 健康でたくましい身体づくりをする。心肺機能や筋力が著しく成長する時期でもあるので、身体に負荷を与えつつ、無理なく運動を続けられるようにする。授業の始まりには、簡単なトレーニングに取り組み、継続する力や意志の力を育てる。 安全に留意しながら、運動の楽しさを味わい、技術の向上を目指す。 運動の理論と人間の身体の仕組みについて、正しい知識を得て、生涯を通じて健康な生活を送ることができるようにする。 仲間と協力し合い、主体的に運動に取り組む姿勢を養う。 							
課題・提出物	年間1～2回のノート提出							
成績評価の方法	平常点(積極性・意欲・態度)20～40%。運動技術の習熟度、知識とその理解60～80%(各種目配分)。							
授業計画	男子			女子				
	4月	スポーツテスト		体づくり運動	スポーツテスト	体づくり運動		
	5月	バレーボール	ティーボール	水泳	ダンス	水泳	マット	
	6月	運動会練習(集団行動)						
	7月							
	夏休							
	9月	運動会練習(集団行動)			運動会練習			
	10月							
	11月	ダンス	バスケットボール	保健	剣道	ティーボール	保健	実技テスト
	12月							
	1月	走幅跳						
	2月	卓球	バスケットボール	持久走	バスケットボール	ソフトテニス	持久走	実技テスト
	3月							
	家庭学習の仕方	<p>日頃から体を動かす習慣をつけ、できるだけ運動に対して興味を持つようにする。柔軟性をつけるために、ストレッチ、体操等をするように心掛ける。取り組んでいるスポーツのルールはアクティブスポーツで確認すること。また、保健および各種目のルールは後期中間試験において筆記試験を行う。</p>			<p>ノートの取り方など</p> <p>A4ファイルにプリントを保存すること。授業で使用したプリントは各自で予復習し完成させておくこと。12月に提出する。</p>			

教科・科目名 : 音楽2			
履修学年・対象	中学 2年	共通 1 単位	
使用教科書	出版社: 教育芸術社	名称: 中学生の音楽2・3上	
	出版社: 教育芸術社	名称: 中学生の器楽	
副教材(授業で使用)	教育芸術社	音楽のキャンパス2	
	音楽の友社	ニューヒットコーラス〔ベストソング〕	
授業の目標・内容・進め方	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変声期に応じた発声の仕方を身に付ける ・多様な音楽への興味や関心を深める ・アルトリコーダーの奏法を生かし、演奏技術を伸ばす ・歌唱、楽器演奏、鑑賞を通じて、音楽の楽しさを体感する <p>【内容・進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、演奏: 姿勢に気をつける。曲中の用語などを確認する ・鑑賞: 作品について考察し、感想・気づいた点などをまとめる ・合唱の曲(課題曲)は随時取り入れる。 		
授業計画	4月	歌唱「校歌」「夢の世界を」 AR「ラヴァースコンチェルト」	
	5月	鑑賞「フーガト短調」 アルトリコーダー	
	6月	合唱「翼をください」「サンタルチア」	実技試験
	7月	合唱祭に向けて	筆記試験
	夏休		
	9月	合唱祭に向けて アルトリコーダー	
	10月	合唱祭に向けて アルトリコーダー	
	11月	合唱祭に向けて アルトリコーダー 芸術鑑賞会に向けて	
	12月	鑑賞「交響曲第5番」 アルトリコーダー	実技試験
	1月	アルトリコーダー 鑑賞「アイダ」	
	2月	3年生を送る会に向けての合唱、アルトリコーダー	筆記・実技
	3月	歌唱、アルトリコーダー	

教科・科目名 : 家庭			
履修学年・対象	中学 2 年	1 単位	
使用教科書	出版社：東京書籍	名称：新しい技術・家庭	
副教材 (授業で使用)	出版社：地域教材社	名称：食生活と自立	
授業の目標・内容・進め方	<p>生活に必要な基礎的な知識と技術を習得し、ものづくりの楽しさを知る。 食生活では、食品群別摂取量のめやすを学習し実生活にいかす。 調理実習も行い、調理の基本を身につける。 被服分野では、自分で衣服の補修ができることを目的とする。 簡易機織りキットを使い、布の組織を学ぶ。 ※前期後期で技術と家庭科が入れ変わります。</p>		
授業計画	4月	バランスのとれた食生活／調理実習	
	5月	調理と食文化／調理実習	
	6月	私たちの消費生活／調理実習	
	7月	衣生活と自立／布の三原組織	
	夏休	夏休みの課題	
	9月	布の三原組織	
	10月	バランスのとれた食生活／調理実習	
	11月	調理と食文化／調理実習	
	12月	私たちの消費生活／調理実習	
	1月	冬休みの課題	
	2月	衣生活と自立／布の三原組織	
	3月	布の三大組織	

教科・科目名 : 技術		
履修学年・対象	中学 2 年	1 単位
使用教科書	出版社: 東京書籍	名称: 新しい技術・家庭
副教材 (授業で使用)	出版社:	名称:
授業の目標・ 内容・進め方	<p>1. プログラミングの基礎をロボット制御で学ぶ。自分のパソコンにプログラムを入力し実行する。</p> <p>2. 身の回りの製品について材料、作り方、工夫などを知る。作りたい製品についての発想を広げる。発想の過程で使用目的と使用条件をはっきりさせることが大切であることを理解する。[木材加工]部品加工に用いる工具や機器を適切に使用することができるようにする。安全には十分に注意する。[金属加工]ねじ切りの道具の基本的な使い方を理解し、安全に使用する。作品は持ち帰り使用することができます。前期後期で技術と家庭科が変わります。</p>	
授業計画	4月	プログラミングによる計測と制御
	5月	プログラミングの実習(ライントレース)
	6月	木材の基礎、ハンガーデザイン作成
	7月	金属加工(おねじ切り)
	夏休	木材加工、仕上げ加工、ニス塗り、組み立て
	9月	仕上げ(穴の位置の確認)
	10月	プログラミングによる計測と制御
	11月	プログラミングの実習(ライントレース)
	12月	木材の基礎、ハンガーデザイン作成
	1月	金属加工(おねじ切り)
	2月	木材加工、仕上げ加工、ニス塗り、組み立て
	3月	仕上げ(穴の位置の確認)

教科・科目名：美術2			
履修学年・対象	中学2年	共通	単位1
使用教科書	出版社：日文	名称：美術2・3上	
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店	名称：感じる、表す 美術	
	副教材は3年間使用		
授業の目標・内容・進め方	<p>{目標}①発想力、想像力の育成Ⅱ、映像と素材の対話②道具、工具の使い方とマナーから 工芸、物作りの心、感じ方などを指導</p> <p>{内容}①コログラフ(紙版画) ②木彫工芸(オリジナル手作り時計) {進め方}前期1作品、後期1作品を制作。それぞれじっくりと時間をかけ制作する。①はイメージの創造と共に素材の表情を使い版画表現をするため、多くの素材を使用すると効果が期待できる。増穂祭、さらに優秀作品は全日本学生美術展にも出展。②木材と彫刻刀を使いレリーフを主体に制作、特に道具の使い方、マナーを指導し、安全に対する意識を高め、集中力を育成する。</p>		
授業計画	4月	ガイダンス、下書き、素材集め、イメージ作り	
	5月	コログラフ、版造り 1	
	6月	コログラフ、版造り 2	
	7月	コログラフ、版造り 3 試し刷り	
	夏休		
	9月	コログラフ、本刷り仕上げ 増穂祭展示	作品提出
	10月	木彫オリジナル時計 道具使用注意指導 アイデアスケッチ	
	11月	木彫オリジナル時計 木彫 彫り1	
	12月	木彫オリジナル時計 木彫 彫り2	
	1月	木彫オリジナル時計 木彫 ヤスリがけ	
	2月	木彫オリジナル時計 木彫 着色	
	3月	木彫オリジナル時計 木彫 仕上げ塗装	作品提出